#### 研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 4 年 9 月 1 3 日現在

機関番号: 12501

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2016~2020

課題番号: 16H02835

研究課題名(和文)プロセスベースのマルチモーダル概念理論の構築と実証についての分野横断的研究

研究課題名(英文)Interdisciplinary research on multimodal and process-based concept formation

#### 研究代表者

松香 敏彦(Matsuka, Toshihiko)

千葉大学・大学院人文科学研究院・教授

研究者番号:30466693

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 12,500,000円

研究成果の概要(和文):人間の高次認知の基礎となるカテゴリ化された情報が、どのような過程で生まれるのか脳の生理指標を含む行動実験及び、ロボットへの実装を含む計算機モデル・シミュレーションを用いて検討した。その結果、概念やカテゴリは複数のモダリティーに分散された記録の集合であることが示唆された。そして、人間は特定の課題を表する際の概念の関係による意味を始まれた。2017年1月17日 1月17日 1月17 であることが示された。また、複数の概念の融合による意味論的変化の仕組みの説明を試みた。さらに、プロジェクションと呼ばれる心的仕組みを提案し、概念をより総合的に捉える解釈を提供した。

研究成果の学術的意義や社会的意義本研究では、さまざまな感覚モダリティに分散された断片的な表象群を、状況に応じてそのつど組織化 = シミュレーションすること自体が概念であるというプロセスベースの概念理論の構築を試み、様々な方法を用いて研究をおこなって点において独創的な学術的知見を提供することができた。 社会的貢献として、ルーブリックで示される固定化したスキル、能力のリストとして捉える動きが広がっていることの問題点を、プロジェクションと呼ばれる新しい心的仕組みを用いて指摘し、代替案として大学教育などにおいては多様なシミュレーションを行う能力、つまり状況に応じた概念を適応することのできる能力の習得が必要であることを提案した。

研究成果の概要(英文): We investigated the processes by which categorized information that serves the basis of human higher cognition emerges using behavioral experiments, including physiological

measurements of the brain, and computer simulations, including implementation in robots.

The results suggested that concepts and categories are a collection of information distributed across multiple modalities. It has also been shown that humans could regenerate context-suitable categories from a distributed set of information when performing different tasks. We also tried to explain the mechanism of semantic change when multiple concepts were merged. In addition, we proposed a framework for a cognitive mechanism called "projection" and provided an interpretation that captures concepts more comprehensively.

研究分野: 認知科学

キーワード: 概念 カテゴリー カテゴリー学習 認知計算モデル

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

### 1.研究開始当初の背景

概念やカテゴリーは知覚、記憶、学習、推論、言語など人間の知的活動のほぼ全てに深く関わっている。そのため概念についてはこれまでに数多くの理論、モデルが提案されてきた。これらの理論には共通する3つの前提がある。第1の前提は、概念を構成する特徴が感覚から独立したものとして表象されているという点である。第2の前提は、概念は固定的な表象をもつという点である。特徴の表現形式は各理論で大きく異なっているが、ある程度まで出来上がった概念を構成する特徴はその重要度も含めて、不変であると仮定されている。第3の前提は、概念を実体(entity)として捉えていることである。

しかしながらこうした前提は理論的にも、また実証的にも多くの問題を抱えていることが徐々 に明らかになってきている。第1の感覚独立性については以下の問題がある。特定の概念の適用 が求められる課題の際にはそれが言語的な判断のみを用いる場合ですら、該当する感覚領野の 賦活があること、またその部位の損傷は課題成績の劣化を招くことが神経科学的に明らかにさ れている。これらは行動実験でも確かめられている。人工物(スイッチ、自転車のペダル)を用 いた真偽判断を行う場合に、それに対する反応(キー押し、またはペダル踏みによる反応)がそ の人工物に対して働きかける時に用いるものと同じ場合には反応が促進される。これらの結果 は概念の構成要素が感覚に依存した形で存在していることを示している。第2の固定性につい ては以下の問題がある。概念の研究でよく取り上げられる典型性は、実際にはその判断の状況や 文脈によって大きく変動することがある。またゴール導出型の概念に見られるように、人は状況 の要請やゴールに応じた柔軟なカテゴリー化を行うことができる。しかし固定した特徴の固定 した重み付きのリストで表現する概念理論はこうした変動性・柔軟性を説明することができな い。これらの問題は相互に関係しながら、第3の前提である概念の実体化の仮定への疑問へとつ ながっていく。これまでの概念のモデルでは、概念を身体や感覚、また状況やゴールと切り離し、 抽象的なシンボル、述語の集合として記述してきた。その結果、記述された実体が外界とどのよ うに結びつくのか、その実体はどのような意味を具現しているのかを理解することが難しい。

# 2.研究の目的

これまでの概念に関する研究の問題点から、概念の構成要素が各モダリティに分散された形で存在していること、また概念はそれが利用されるその場その場で動的に生成されることの2つの可能性を示されている。本研究では、さまざまな感覚モダリティに分散された断片的な表象群を、状況に応じてそのつど組織化=シミュレーションすること自体が概念であるというプロセスベースの概念理論の構築を目指した。この目標の達成のために、まず、概念の(1)感覚依存性と(2)文脈・ゴールによる変動のメカニズムの解明し、(3)それらを統合的に説明するモデルの構築を試みる。

概念がその獲得に関わった感覚モダリティと密接な結びつきを保ち続けることは理論研究、神経科学的実験を含む行動実験で断片的に示唆されている。これらの言及を本研究ではマルチモーダルな素材を用いて、カテゴリー形成、およびカテゴリー化のプロセスを実証的に明らかにする。

#### 3.研究の方法

本研究では、異なった文脈や目標を持った主体の状況の中での活動から作り上げられるカテゴリーとその利用に関する行動的、神経科学的データを収集し、その文脈依存性についての検討を行う(文脈・ゴールによる変動のメカニズムの解明)。

さらに、分散され断片化された感覚依存の構成要素が、状況やゴールに応じそのつど組織化されることにより概念が生み出されている可能性を示すため、認知モデルを構築し検証する。計算機上での検証だけではなく、構築したモデルをロボット上に実装し、実世界での検証も行う(モデル化)、概念は他の概念と結びついたり(概念結合)、比喩的に活用されたりすることでその意味を大きく変化させる。しかしこれまでの研究ではこれらを整合的に扱う枠組みが存在しなかった。本研究では、これらの変動に通底する要因とその作用のあり方も統一的に説明可能なモデルに発展させることも試みる。

# 4. 研究成果

- (1) 概念が意味論的に処理される場合においても、知覚運動表象が活性されるか否か、言語的に呈示された課題を用いて検討した。第二言語初心者の第二言語理解時の感覚運動表象の活性化について、日本人学生を対象に3つの実験を行った。実験1・2では、日本人学習者は、日本語と英語の一人称動作文と二人称動作文、および心的動作文に対して、感性判断課題を行った。心的動作文の反応時間は、両言語とも他の2種類の文に比べ有意に長かった。一人称文と二人称文の間には有意な差は見られなかった。第3の実験では、手を使った動作を示す身体行為文と身体行為を伴わない心的行為文の完了形と進行形を比較した。身体行為文では、進行形に対する反応時間が完了形に対する反応時間よりも短くなった。しかし、心的行為文では、時制は有意な影響を与えなかった。第二言語の理解時に、その言語が流暢でない学習者であっても、知覚運動表象が活性化することが示された。このことは、意味概念における知覚運動表象活性化の普遍性を示すものである。
- (2) 第二言語における文字の理解と利用に、身体経験が関与するか学習実験により検討した。 英語レベルが初級の大学生 24 名を以下の 2 つのグループに無作為に振り分け、実験を行った。 (a)英語の音単位/I/2/I/2/を正しく発音する訓練を受け、かつ L と R を含む英単語の綴りを音読で学習するグループ(発音グループ)と、(b)同じ英単語をボールペンで L は青、R は赤で丸く 囲んで綴りを学ぶグループ(色グループ)である。また、英単語の難易度が単語の正確な綴りに どの程度影響するかを調べるために、難易度を easy、moderate、difficult の 3 段階に設定した。その結果、単語綴りテストでは、色彩グループの成績は難易度が上がると大きく低下したが、発音グループの成績は、難易度レベルにおいても低下しなかった。

日本語を母国語とする英語初級学習者にとって、舌の動きとして///と/r/を正しく発音することの習得は、高難易度の L と R を含む英単語の綴りを容易にすることができた。本研究は、 L と R という文字の区別に、発音時の運動表象が寄与する可能性を示した。この結果は、知覚運動表象の獲得によって、言語の「意味」理解が促進されることを、文字にも拡張したものと言える。

- (3) 概念の文脈依存性及び動的活用の仕組みを検討するため、なぞかけ遊びを題材とし、計算 モデル及び行動実験を用いた研究を行った。「A とかけて B ととく、その心はどちらも C/C'」 という形式のなぞかけは、日本語の言葉遊びの一種であり、オチの提示によりお題の関連性が明 らかとなることでユーモアが生起される。なぞかけを構成する概念の類似性はなぞかけが持つ 意味構造を反映している。本研究では、なぞかけの意味構造となぞかけにより生起されるユーモ アの関係を、Wikipedia コーパスを用いたなぞなぞ生成システムと評価実験により検討した。生 成システムは、word2vec により推定された概念間の類似度に基づきなぞかけを生成する。概念 間の類似性とユーモアの関係を明らかにするために、生成されたなぞかけを用いた評価実験を 実施した。その結果、なぞかけは、お題として提示される概念と同音異義語である2つの名詞か らなるオチ(C-A またはC'-B)の類似度が高く、オチを構成する概念間(C、C')の類似度が低 い場合に最もユーモアが生起されることが示唆された。さらに、上記先行システムを発展させよ り自然ななぞかけシステムの生成を目指し、同音異義語の動詞と名詞の組み合わせによるオチ をもつなぞかけ生成システムの構築を行なった。人間が作成したなぞかけと比較することによ り、先行システム、発展システムの評価を行なった。その結果、人間が作成したなぞかけには及 ばないが、動詞と名詞の組み合わせによるオチをもつなぞかけ生成システムは、先行システムと 比較し、よりユーモラスで、意外性があり、自然ななぞかけが生成できることが示された。
- (4) 概念が脳内でどのように分散表現されているか、概念の神経表象が課題文脈によって変化するか検討するため、fMRI 実験を行った。野菜と果物のカテゴリーに属する物体に関する言語刺激に対して、その形態、色、カテゴリー(野菜もしくは果物)、行為(食べ方)といった属性について判断課題を用い、その際の脳活動を比較した。その結果、全課題に共通した神経活動と、課題間で異なる神経活動が見られた。具体的には、左下前頭回(IFG)の活動は4つの判断課題全てに共通し(ただし、活動範囲は同一ではない)、左下側頭葉(IPL)と左下頭頂葉(ITL)の活性化程度は課題によって異なっていることが示された。この結果は、同一の概念でも、文脈や感覚によって神経表象が異なる可能性を示している。
- (5) 概念の表象基盤と人間の記憶の関係性について計算機シミュレーションを用いて検討した。 人間の記憶システムは忘却や虚偽記憶をもたらすなど、不完全であると考えられている。一 方で、人間の高次認知において重要で基礎的な処理であるカテゴリー化に関する理論では、 人間は過去に経験した様々な事例を高い精度で想起し参照することができるとされてきた。 本研究では、学習における記憶の不確実性・曖昧性の効果を検討するため、制約なしモデル

及び2つの制約を実装した計算モデルを用い比較した。具体的には、学習時に限定された事例のみを想起できる不完全記憶モデル、参照する事例の弁別が困難な場面を再現した弁別困難モデルを用いた。計算機シミュレーションを行った結果、不完全記憶モデルは事例とカテゴリーの関係性を正しく学習するとともに過剰一般化が起こりにくい知識を獲得した。一方で弁別困難モデルは、曖昧性を回避するために学習が促進され、むしろより強い過剰一般化を引き起こすことが示された。この結果は概念の表象基盤が多くの事例によるものであったとしても、人間の記憶が不完全性であることによって、カテゴリ学習において抽象化が起こりえることを示している。

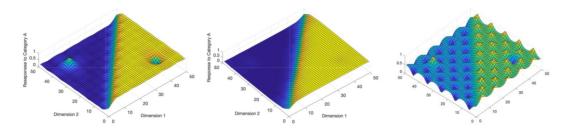


図 1. 制約なしモデル(左)、不完全記憶モデル(中央)、弁別困難モデル(右)のシミュレーションの結果。不完全記憶モデルでは過剰一般化(グラフがスムーズ)を回避できているのに対し、弁別困難モデルでは強い過剰一般化が起こることが示された。

(6) 従来研究の知見から計算モデルを構築し、実体のあるロボットに実装し、従来研究の知見やモデルの妥当性を検討した。本研究では、概念形成のための確率モデルである Multimodal Latent Dirichlet Allocaiton(MLDA)と、特徴抽出が可能な深層生成モデルである Variational Autoencoder(VAE)を統合し、特徴抽出器も学習可能な総合的な概念形成モデルを提案した(図2)。

本モデルによって、物体から VAE によって学習される特徴量と、人から与えられる物体の特徴を教示する教示発話を統合して概念を形成することが可能となった。また、形成された概念から、それらの概念をより明確に分けられるような制約を VAE に与えることを可能とした。この概念形成と、概念からの制約による特徴抽出器の学習を繰り返すことで、概念形成に重要な特徴を抽出し、より高精度に物体概念の形成が可能であることを示した。

検証実験では、499個の物体画像から提案モデルを用いロボットに学習させた。その結果、他の手法に比べて高精度な概念形成が可能であり、さらに事前に設計した特徴抽出器を用いた場合と同等の精度となった。さらに、抽出された特徴量を可視化したところ、物体の特徴を表現する潜在空間が獲得されていることが示された。

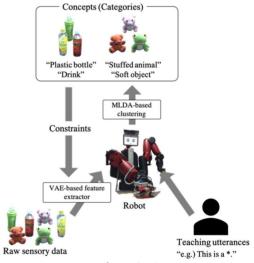


図 2. モデルの概念図

(6)プロジェクション科学と呼ばれる心的枠組みを新たに提案し、概念をより総合的に捉える解釈を提供した。 プロジェクションとは内部表象を外の世界に投射、定位する心の働きである。投射される内的表象は、この時、身体化されたマルチモーダルな概念・知識などである。これらがどのように投射され、個人の現実世界を構成するのかについての検討を行った。 内的に形成されたマルチモーダル・シミュレーションの結果が、プロジェクションという未解明な心の働きによって投射され、その結果我々の知覚する世界は意味に彩られたものとなることを指摘した。その上で知覚レベルの錯覚、VRにおける臨場感、極限状況下での知覚の異常、フェティシズム、信仰、解離性障害などが統一的に説明できる可能性を指摘した。

### 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計56件(うち査読付論文 45件/うち国際共著 4件/うちオープンアクセス 24件)

1 . 著名名	[ 雑誌論文] 計56件(うち査読付論文 45件/うち国際共著 4件/うちオープンアクセス 24件)	
2 論文程語 プロジェクション・サイエンスのこれまで、そしてこれから 3 . 雑誌名 別の10 デックルオブジェクト識別子)	1.著者名	4 . 巻
2 論文程語 プロジェクション・サイエンスのこれまで、そしてこれから 3 . 雑誌名 別の10 デックルオブジェクト識別子)		
プロジェクション・サイエンスのこれまで、そしてこれから   2020年   3. 超距名   3. 銀距名   6. 最初と最後の頁   433,435   3. 435   3		
プロジェクション・サイエンスのこれまで、そしてこれから   2020年   3. 超距名   3. 銀距名   6. 最初と最後の頁   433,435   3. 435   3	2 全文価時	F
3 . 雑誌名 (2. 最初と最後の音 (2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2		
超額論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	ノロシェクション・サイエンスのこれまで、そしてこれから	2020年
超額論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
超額論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
指数論文のDDI(デジタルオブジェクト語別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 Pretas Rafael V、Taoka Hiki、Suzuki Hiroaki、Iriki Atsushi 2. 論文標證 Secondary sonatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the-world maps 3. 細胞名 Experimental Brain Research 5. 飛行年 2020年 2039-272  記読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 IRIKI Atsushi、Suzuki Hiroaki、TAWAKA Shopo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAWAZAKI Yumiko 5. 飛行年 Experimental Brain Research 5. 飛行年 6. 最初と監検の再 151-173  開戦論文のDDI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017		
### オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	HOZHT I J	700, 700
### オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)		
### オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)		****
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Bretas Rafael V.、Taoka Miki、Suzuki Hiroaki、Iriki Atsushi  2. 論文標題 Secondary somatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the-world maps, or single self-in-the-world maps, and self-in-the-world maps.  3. 雑誌名 Experimental Brain Research  超論交のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s00221-020-05727-9  直読の有無 有 オープンアクセス  1. 著者名 IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAWAZAKI Yumiko  2. 論文種題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOSY, NEUROBIOLOGY, AND PHENDROMOLOSY  3. 雑誌名 PSYCHOLOSIA  1. 著者名 RBM論交のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2117/psysoc. 2021-8017  オープンアクセス  1. 著者名 Anama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2. 論文種題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3. 雑誌名 Brain and Behavior  2. 論文種題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3. 雑誌名 Brain and Behavior  4. 意 3. 操語名 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3. 雑誌名 Brain and Behavior  2. 最初の有無 有 7. デンアクセス  2. 虚数の有無 有 2. の有用 有 2. の表別と最後の頁 6. 最初と最後の頁 6. 自動と最後の頁 6. 自動の有無 有 7. デンアクセス  2. 虚数の有無 有 2. の表別と最後の頁 6. 自動の有無 有 2. の表別と最後の有無 有 2. の表別と表後の有無 有 2. の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表		
1 . 著名名 Bretas Rafael V.、Taoka Miki、Suzuki Hiroaki、Iriki Atsushi 2 . 論文標題 Secondary somatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the-world maps 3 . 頑慈な音 Experimental Brain Research 5 . 発行年 2020年 259-272  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-020-05727-9	なし	無
1 . 著名名 Bretas Rafael V.、Taoka Miki、Suzuki Hiroaki、Iriki Atsushi 2 . 論文標題 Secondary somatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the-world maps 3 . 頑慈な音 Experimental Brain Research 5 . 発行年 2020年 259-272  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-020-05727-9		
1 . 著名名 Bretas Rafael V.、Taoka Miki、Suzuki Hiroaki、Iriki Atsushi 2 . 論文標題 Secondary somatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the-world maps 3 . 頑慈な音 Experimental Brain Research 5 . 発行年 2020年 259-272  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-020-05727-9	オープンアクセス	国際共著
1. 著名名 Bretas Rafael V.、Taoka Miki、Suzuki Hiroaki、Iriki Atsushi 2. 論文標題 Secondary somatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the- world maps 3. 議話名 Experimental Brain Research 6. 最初と最後の頁 259-272  据觀論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-020-05727-9  1 著名名 IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko 2. 論文標題 THE SAVIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PNENNIENOLOGY AND PNENNIENOLOGY 1. 著名名 PSYCHOLOGIA 6. 最初と最後の頁 151-173  R教論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-8017  オープンアクセス  1. 著名名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji 2. 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition 3. 孫話名 Brain and Behavior  2. 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition 3. 孫話名 Brain and Behavior  2. 論教養のの同(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  2. abiopside Biopside		
Bretas Rafael V., Taoka Miki, Suzuki Hiroaki, Iriki Atsushi 2 . 論文標題 Secondary sonatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the-world maps 3 . 雑誌名 Experimental Brain Research 2 . 最初と最後の頁 2 . 5 . 第行年 2020年 2 . 6 . 最初と最後の頁 2 . 5 . 第行年 2 . 5 . 第行年 2 . 6 . 最初と最後の頁 2 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 .	カーノファフセスとしている(また、ていアたてのる)	-
Bretas Rafael V., Taoka Miki, Suzuki Hiroaki, Iriki Atsushi 2 . 論文標題 Secondary sonatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the-world maps 3 . 雑誌名 Experimental Brain Research 2 . 最初と最後の頁 2 . 5 . 第行年 2020年 2 . 6 . 最初と最後の頁 2 . 5 . 第行年 2 . 5 . 第行年 2 . 6 . 最初と最後の頁 2 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 .		
2.論文標題 Secondary sonatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the-world naps 3. 雑誌名 Experimental Brain Research  ### 2020年  ### 259-272  ### 2	1.著者名	4.巻
2.論文標題 Secondary sonatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the-world naps 3. 雑誌名 Experimental Brain Research  ### 2020年  ### 259-272  ### 2	Bretas Rafael V., Taoka Miki, Suzuki Hiroaki, Iriki Atsushi	238
Secondary somatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the-world maps 3 . 雑誌名 Experimental Brain Research 6 . 最初と最後の頁 259 ~ 272  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-020-05727-9		
Secondary somatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the-world maps 3 . 雑誌名 Experimental Brain Research 6 . 最初と最後の頁 259 ~ 272  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-020-05727-9	2 经分摊的	c ※/
world maps 3 . 始誌名 Experimental Brain Research Experimental Brain Research  6 . 最初と最後の頁 259-272  超談論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-020-05727-9  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko 2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY、NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY 3 . 始誌名 PSYCHOLOGIA  1 . 著者名 Atama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji 2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  1 . 難試名 Brain and Behavior  4 . 巻 11  4 . 巻 11  5 . 発行年 2021年 2021年 2021年 2021年 2021年 2021年 2021年 3 . 雑誌名 Brain and Behavior  4 . 巻 11  4 . 巻 11  5 . 発行年 2021年 202		
3 . 雑誌名   259 - 272		2020年
Experimental Brain Research 259~272  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 10.1007/s00221-020-05727-9	world maps	
Experimental Brain Research 259~272  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 10.1007/s00221-020-05727-9	3.雑誌名	6.最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-020-05727-9		
### 10.1007/s00221-020-05727-9 有	Experimental brain research	203 - 212
### 10.1007/s00221-020-05727-9 有		
### 10.1007/s00221-020-05727-9 有		
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 著者名 IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko 2 .論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY、NEUROBIOLOGY、AND PHENOMENOLOGY 3 .雑誌名 PSYCHOLOGIA  信義初立のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-8017  1 .著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 .論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 .雑誌名 Brain and Behavior  超談文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  超談論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  直読の有無 有 オープンアクセス  国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 著者名 IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko 2 .論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY、NEUROBIOLOGY、AND PHENOMENOLOGY 3 .雑誌名 PSYCHOLOGIA  信義初立のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-8017  1 .著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 .論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 .雑誌名 Brain and Behavior  超談文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  超談論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  直読の有無 有 オープンアクセス  国際共著	10.1007/s00221-020-05727-9	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1. 著者名 IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko 63  2. 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY、NEUROBIOLOGY、AND PHENOMENOLOGY 2021年 202177/psysoc.2021-B017 202177/psys		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1. 著者名 IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko 63  2. 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY、NEUROBIOLOGY、AND PHENOMENOLOGY 2021年 202177/psysoc.2021-B017 202177/psys	ナーブンマクセフ	国際共革
1. 著者名 IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2. 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY 3. 雑誌名 PSYCHOLOGIA  お地話名 PSYCHOLOGIA  「おもしまれる」		
IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY 3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  1. 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior  「表読の有無 10.1002/brb3.2157  「書読の有無 10.1002/brb3.2157	オーフンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY 3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  1. 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior  「表読の有無 10.1002/brb3.2157  「書読の有無 10.1002/brb3.2157		
IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY 3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  1. 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior  「表読の有無 10.1002/brb3.2157  「書読の有無 10.1002/brb3.2157		
2.論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY 3.雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オーブンアクセス  1.著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2.論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3.雑誌名 Brain and Behavior  5.発行年 2021年  4.巻 11  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 11  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 602157  6.最初と最後の頁 602157  6.最初と最後の頁 602157	1.著者名	4 . 巻
THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior  1 . 10.1002/brb3.2157  a in in induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating e02157  a in induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating in language acquisition  5 . 発行年 2021年 202		
THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior  1 . 10.1002/brb3.2157  a in in induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating e02157  a in induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating in language acquisition  5 . 発行年 2021年 202		
AND PHENOMENOLOGY  3.雑誌名 PSYCHOLOGIA  信載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  1. 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2.論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3. 雑誌名 Brain and Behavior  6.最初と最後の頁 e02157  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  査読の有無 有 オープンアクセス  国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko	63
AND PHENOMENOLOGY  3.雑誌名 PSYCHOLOGIA  信載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  1. 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2.論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3. 雑誌名 Brain and Behavior  6.最初と最後の頁 e02157  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  査読の有無 有 オープンアクセス  国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko 2.論文標題	63 5 . 発行年
3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  「表示のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior  「表示のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  「本プンアクセス  「表示のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  「本プンアクセス  「表示の方無 有	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko 2.論文標題	63 5 . 発行年
PSYCHOLOGIA 151~173  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY,	63 5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY	5.発行年 2021年
10.2117/psysoc.2021-B017 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する   1.著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名	63 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.2117/psysoc.2021-B017 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する   1.著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名	63 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.2117/psysoc.2021-B017 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する   1.著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名	63 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.2117/psysoc.2021-B017 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する   1.著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173
オープンアクセス  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior  打動物を表現します。  「おっプンアクセス  国際共著  「本ープンアクセス  国際共著  「表記の有無 有  「表記の有無 有  「オープンアクセス  国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1.著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji 11  2.論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition 3.雑誌名 Brain and Behavior 6.最初と最後の頁e02157  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1.著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji 11  2.論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition 3.雑誌名 Brain and Behavior 6.最初と最後の頁e02157  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173
1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157   査読の有無 有  オープンアクセス  国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無
Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2. 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3. 雑誌名 Brain and Behavior  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157   直読の有無 オープンアクセス  国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有
Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2. 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3. 雑誌名 Brain and Behavior  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157   直読の有無 オープンアクセス  国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有
Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2. 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3. 雑誌名 Brain and Behavior  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157   直読の有無 オープンアクセス  国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有
2.論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3.雑誌名 Brain and Behavior  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  有  国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する
Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3.雑誌名 Brain and Behavior  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  有  国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2.論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3.雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する
Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3.雑誌名 Brain and Behavior  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  有  国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2.論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3.雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する
Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3.雑誌名 Brain and Behavior  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  有  国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji	63 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻
unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3.雑誌名 Brain and Behavior  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  有  国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji	63 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻
3.雑誌名 Brain and Behavior6.最初と最後の頁 e02157掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157査読の有無 有オープンアクセス国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11
Brain and Behavior       e02157         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年
10.1002/brb3.2157     有       オープンアクセス     国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.1002/brb3.2157     有       オープンアクセス     国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.1002/brb3.2157     有       オープンアクセス     国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.1002/brb3.2157     有       オープンアクセス     国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e02157
	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e02157
	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e02157
	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e02157
The state of the s	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e02157
	IRIKI Atsushi、SUZUKI Hiroaki、TANAKA Shogo、BRETAS VIEIRA Rafael、YAMAZAKI Yumiko  2 . 論文標題 THE SAPIENT PARADOX AND THE GREAT JOURNEY: INSIGHTS FROM COGNITIVE PSYCHOLOGY, NEUROBIOLOGY, AND PHENOMENOLOGY  3 . 雑誌名 PSYCHOLOGIA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psysoc.2021-B017  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akama Hiroyuki、Yuan Yixin、Awazu Shunji  2 . 論文標題 Task induced brain functional connectivity as a representation of schema for mediating unsupervised and supervised learning dynamics in language acquisition  3 . 雑誌名 Brain and Behavior  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2157  オープンアクセス	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 151~173 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e02157 査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
鈴木 明夫、粟津 俊二	28
	5.発行年
て、端文様題 行為経験としての英語発音による 英語スペリング記憶の促進: LとRを含む英単語の場合	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
認知科学	567 ~ 577
   掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
10.11225/cs.2021.043	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
粟津 俊二、鈴木 明夫	27
2.論文標題	5.発行年
2 . 調又信題   第二言語低熟達者による第二言語文理解の身体性	3 . 光11年 2020年
カーロロBXXほ目によるカーロロメは肝ツオ仲は	2020-+
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
認知科学	554 ~ 566
   掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	
10.11225/cs.2020.010	有
   オープンアクセス	国際共著
オープンテラセス   オープンアクセスとしている(また、その予定である)	· 四际共有
3 7777 EXCO CVI ( W.E. ( CV) 1 E CV V	
1.著者名	4 . 巻
栗津 俊二	28
	5 . 発行年
文理解時の知覚運動シミュレーション	2021年
2 htt:+ 47	C 目知12日後の百
3 . 雑誌名 認知科学	6.最初と最後の頁
	612 ~ 628
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
拘載論文のDOT ( デンタルオフシェクト識別士 )   10.11225/cs.2021.051	直硫の行無   無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
鈴木明夫・粟津俊二	14
2.論文標題	5 . 発行年
こ・調え情報と   アクティブ・ラーニングは中等教育でどのように受け止められているか? 高校生と中高教員を対象とした	
質問紙調査から見えたこと	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
学習開発学研究	43,52
	* * * o + #
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
し なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

4	
1.著者名 粟津俊二・石川悟・新垣紀子	4 . 巻 29
2 . 論文標題 特集「オンラインの認知科学」編集にあたって	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 認知科学	6.最初と最後の頁 1,6
10.11225/cs.2022.022	無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名	4.巻 18
2 . 論文標題 Covid-19禍のオンライン・コミュニケ ションにおいて大学生はどのような問題を経験したかーインタ ビューによる予備調査	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 実践女子大学人間社会学部紀要	6.最初と最後の頁 101,110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 英本47	4 <del>*</del>
1.著者名 Nagano Masatoshi、Nakamura Tomoaki	4.巻 39
2.論文標題 Learning Word Meanings Using Joint Attention and MLDA in Environments with a Plurality of Objects	5.発行年 2021年
3.雑誌名 Journal of the Robotics Society of Japan	6.最初と最後の頁 549~552
日野公立のDOL / ごごクリナブジークト端回フト	本芸の左位
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7210/jrsj.39.549	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名	4.巻 3
Kuniyasu Ryo、Nakamura Tomoaki、Taniguchi Tadahiro、Nagai Takayuki	-
Kuniyasu Ryo、Nakamura Tomoaki、Taniguchi Tadahiro、Nagai Takayuki  2 . 論文標題 Robot Concept Acquisition Based on Interaction Between Probabilistic and Deep Generative Models	5 . 発行年 2021年
2 . 論文標題	5.発行年
2.論文標題 Robot Concept Acquisition Based on Interaction Between Probabilistic and Deep Generative Models  3.雑誌名 Frontiers in Computer Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1,14
2.論文標題 Robot Concept Acquisition Based on Interaction Between Probabilistic and Deep Generative Models  3.雑誌名 Frontiers in Computer Science	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1,14

T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	4 <del>*</del>
1.著者名	<b>4.巻</b> 1
Yoshiko Kawabata, Toshihiko Matsuk	1
2.論文標題	
Aizuchi as a sign of internal information processing and its interpretations by listeners	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
2021 Asia-Pacific Signal and Information Processing Association Annual Summit and Conference,	380,385
APSIPA ASC 2021 - Proceedings	
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	有
オープンアクセス	国際共著
=	四际六有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 英字夕	
1.著者名	4 . 巻
Kuangzhe Xu, Noriko Nagata, Toshihiko Matsuka	1
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F 36/-/-
2.論文標題	5 . 発行年
Modeling the dynamics of observational behaviors base on observers' personality traits using	2021年
hidden Markov Models	
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
2021 Asia-Pacific Signal and Information Processing Association Annual Summit and Conference,	359,365
APSIPA ASC 2021 - Proceedings	
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Hidehito Honda, Toshihiko Matsuka, Kazuhiro Ueda	1
2 . 論文標題	5 . 発行年
The effect of context on decisions: Decision by sampling based on probabilistic beliefs	2020年
The effect of context on decisions, becasion by sampling based on probabilistic beliefs	
The effect of context on decisions. Decision by sampring based on probabilistic befreis	
	6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 3308,3313
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society	
B.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society	
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3308,3313 査読の有無
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society	3308,3313
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	3308,3313 査読の有無 有
B.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	3308,3313 査読の有無
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	3308,3313 査読の有無 有
B.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	3308,3313 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	3308,3313 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	3308,3313 査読の有無 有 国際共著
B. 雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Asuka Terai, Kento Yamashita, So Komagamine	3308,3313 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Asuka Terai, Kento Yamashita, So Komagamine 2.論文標題	3308,3313 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Asuka Terai, Kento Yamashita, So Komagamine	3308,3313 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Asuka Terai, Kento Yamashita, So Komagamine  2.論文標題 Computer Humor and Human Humor: Construction of Japanese "Nazokake" Riddle Generation Systems	3308,3313       査読の有無       有       国際共著       4 . 巻       24       5 . 発行年       2020年
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Asuka Terai, Kento Yamashita, So Komagamine  2.論文標題 Computer Humor and Human Humor: Construction of Japanese "Nazokake" Riddle Generation Systems  3.雑誌名	3308,3313査読の有無有国際共著4.巻 245.発行年 2020年6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Asuka Terai, Kento Yamashita, So Komagamine  2.論文標題 Computer Humor and Human Humor: Construction of Japanese "Nazokake" Riddle Generation Systems	3308,3313       査読の有無       有       国際共著       4 . 巻       24       5 . 発行年       2020年
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Asuka Terai, Kento Yamashita, So Komagamine  2.論文標題 Computer Humor and Human Humor: Construction of Japanese "Nazokake" Riddle Generation Systems  3.雑誌名	3308,3313査読の有無有国際共著4.巻 245.発行年 2020年6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Asuka Terai, Kento Yamashita, So Komagamine  2.論文標題 Computer Humor and Human Humor: Construction of Japanese "Nazokake" Riddle Generation Systems  3.雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics	3308,3313 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 199~205
3 . 雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Asuka Terai, Kento Yamashita, So Komagamine 2 . 論文標題 Computer Humor and Human Humor: Construction of Japanese "Nazokake" Riddle Generation Systems 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics	3308,3313 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 199~205 査読の有無
3 . 雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Asuka Terai, Kento Yamashita, So Komagamine  2 . 論文標題 Computer Humor and Human Humor: Construction of Japanese "Nazokake" Riddle Generation Systems  3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics	3308,3313 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 199~205
3.雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Asuka Terai, Kento Yamashita, So Komagamine  2.論文標題 Computer Humor and Human Humor: Construction of Japanese "Nazokake" Riddle Generation Systems  3.雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jaciii.2020.p0199	3308,3313  査読の有無 有  国際共著 - 4 . 巻 24  5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 199~205  査読の有無 有
3 . 雑誌名 Proceedings of the 42th Annual Meeting of the Cognitive Science Society  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Asuka Terai, Kento Yamashita, So Komagamine 2 . 論文標題 Computer Humor and Human Humor: Construction of Japanese "Nazokake" Riddle Generation Systems 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics	3308,3313 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 199~205 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Terai Asuka、Sugyo Taiki	-
2 . 論文標題	5.発行年
Construction of a Corpus-Based Metaphor Generation Support System Built on Japanese Literature	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 11th IEEE International Workshop on Computational Intelligence and	41, 46
Applications	, -
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1109/IWCIA47330.2019.8955041	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
粟津俊二 鈴木明夫	-
2 . 論文標題	5.発行年
第二言語低熟達者による第二言語文理解の身体性	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
認知科学	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
拘載論又のDOT(デンタルイプシェクト蔵別士) なし	直硫の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
7 7777 EXC 0 CM 3 (&/c. ( CW) / (E CW 3 )	
1 . 著者名	4 . 巻
Masatoshi Nagano, Tomoaki Nakamura, Takayuki Nagai, Daichi Mochihashi, Ichiro Kobayashi, Wataru Takano	
2 . 論文標題	5.発行年
HVGH: Unsupervised Segmentation for High-dimensional Time Series Using Deep Neural Compression and Statistical Generative Mode	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Robotics and AI	1, 15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/frobt.2019.00115	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている (また、その予定である)	- -
. ***	. 14
1 . 著者名 Nagano Masatoshi、Nakamura Tomoaki、Nagai Takayuki、Mochihashi Daichi、Kobayashi Ichiro、Takano	4.巻 -
Wataru 2.論文標題	5 . 発行年
High-dimensional Motion Segmentation by Variational Autoencoder and Gaussian Processes	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the International Conference on Intelligent Robots and Systems	105, 110
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1109/IROS40897.2019.8967987	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

1.著者名 Bretas, R., Taoka, M., Suzuki, H. and Iriki, A.4.巻 2382.論文標題 Secondary somatosensory cortex of primates: beyond body maps, toward conscious self-in-the-5.発行年 2020年	
2 . 論文標題 5 . 発行年	
decondary somatosensory cortex or primates, beyond body maps, toward conscious seri-in-the-	
world maps	
3.雑誌名       6.最初と最後の頁	
Experimental Brain Research 259, 272	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
10.1007/s00221-020-05727-9 有	
オープンアクセス	
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する	
1 . 著者名 4 . 巻	
鈴木宏昭 1416	
A 11/4/19	
2.論文標題 5.発行年	
揺らぎが生み出す理解と学習:可能態として子供を見る 2020年	
3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
教育研究 14, 17	
なし 無	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセス	
オープンデッセス こはない、 文はオープンデッ ヒスが 四乗 -	
1 . 著者名 4 . 巻	
鈴木 宏昭 26	
200 200	
2 . 論文標題 5 . 発行年	
プロジェクション科学の目指すもの 2019年	
2017	
3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
認知科学 52~71	
RUMANITY	
相對於かのPOL / デックルナブック A L 禁ロフン	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.11225/jcss.26.52 有	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) -	
オープンアクセスとしている(また、その予定である) -	
オープンアクセスとしている(また、その予定である) -	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1 . 著者名 鈴木 宏昭、小野 哲雄、米田 英嗣       4 . 巻 26	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1.著者名       4.巻	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1 . 著者名 鈴木 宏昭、小野 哲雄、米田 英嗣       4 . 巻 26         2 . 論文標題       5 . 発行年	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1 . 著者名 鈴木 宏昭、小野 哲雄、米田 英嗣       4 . 巻 26	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1 . 著者名 鈴木 宏昭、小野 哲雄、米田 英嗣       4 . 巻 26         2 . 論文標題 特集「プロジェクション科学」編集にあたって       5 . 発行年 2019年	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1 . 著者名 鈴木 宏昭、小野 哲雄、米田 英嗣4 . 巻 262 . 論文標題 特集「プロジェクション科学」編集にあたって5 . 発行年 2019年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1 . 著者名 鈴木 宏昭、小野 哲雄、米田 英嗣4 . 巻 262 . 論文標題 特集「プロジェクション科学」編集にあたって5 . 発行年 2019年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1 . 著者名 鈴木 宏昭、小野 哲雄、米田 英嗣       4 . 巻 26         2 . 論文標題 特集「プロジェクション科学」編集にあたって       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 認知科学       6 . 最初と最後の頁 6~13	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1 . 著者名 鈴木 宏昭、小野 哲雄、米田 英嗣4 . 巻 262 . 論文標題 特集「プロジェクション科学」編集にあたって5 . 発行年 2019年3 . 雑誌名 認知科学6 . 最初と最後の頁 6~13掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)査読の有無	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1 . 著者名 鈴木 宏昭、小野 哲雄、米田 英嗣       4 . 巻 26         2 . 論文標題 特集「プロジェクション科学」編集にあたって       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 認知科学       6 . 最初と最後の頁 6~13	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1 . 著者名 鈴木 宏昭、小野 哲雄、米田 英嗣4 . 巻 262 . 論文標題 特集「プロジェクション科学」編集にあたって5 . 発行年 2019年3 . 雑誌名 認知科学6 . 最初と最後の頁 6~13掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11225/jcss.26.6査読の有無 無	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1 . 著者名 鈴木 宏昭、小野 哲雄、米田 英嗣4 . 巻 262 . 論文標題 特集「プロジェクション科学」編集にあたって5 . 発行年 	

1 . 著者名	4 . 巻
会木宏昭、薬師神玲子 	10
2 . 論文標題 跳び出す心,拡がる身体	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 青山学院大学教育人間科学部紀要	6.最初と最後の頁 137,145
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4 . 巻
Shirasuna Masaru, Honda Hidehito, Matsuka Toshihiko, Ueda Kazuhiro	44 44
2.論文標題 Familiarity Matching: An Ecologically Rational Heuristic for the Relationships Comparison Task	5.発行年 2020年
3.雑誌名 Cognitive Science	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cogs.12806	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4	4 <del>44</del>
1 . 著者名 Matsuka Toshihiko、Kawabbatas Yoshiko、Xu Kuangzhe	4.巻 1142
2 . 論文標題 Effect of Incomplete Memorization in a Computational Model of Human Cognition	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Neural Information Processing, Communication in Computer and Information Science, Proceeding of ICONIP 2019,	6 . 最初と最後の頁 548~556
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/978-3-030-36808-1_60	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4	4 <del>*</del>
1 . 著者名 Xu Kuangzhe、Tagami Hiyori、Matsuka Toshihiko	4.巻 - -
2.論文標題 How do the personality traits affect observational behaviors when judging whether smiles are genuine or not?	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 In Proceedings of the 6th International conference on Behavioral, Economic and Socio-cultural Computing	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/BESC48373.2019.8963457	査読の有無 有

	4 *
1 . 著者名	4 . 巻
Tomoaki Nakamura, Takayuki Nagai	10
2 . 論文標題	5.発行年
Ensemble-of-Concept Models for Unsupervised Formation of Multiple Categories	2018年
2 Someth modern for sheaper rious formation of multiple sategories	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
IEEE Transactions on Cognitive and Developmental Systems	1043 1057
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u>   査読の有無
司 (10.1109/TCDS, 2017, 2745502	
10.1109/1005.2017.2745502	有
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1.著者名	4 . 巻
Tomoaki Nakamura, Takayuki Nagai, Tadahiro Taniguchi	12
2 . 論文標題	5 . 発行年
	2018年
SERKET: An Architecture for Connecting Stochastic Models to Realize a Large-Scale Cognitive Model	2010-
·····································	6.最初と最後の頁
Frontiers in Neurorobotics	1-16
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本性の方無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	査読の有無
10.3389/fnbot.2018.00025	有
↑−プンアクセス	国際共著
プログライン オープンアクセスとしている (また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
鈴木宏昭	26
) \$\dagger \dagger \	F 整仁左
2.論文標題	5 . 発行年
プロジェクション科学の目指すもの	2019年
. 雑誌名	6.最初と最後の頁
認知科学	52 71
ROCKET &	]
	The state of the s
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
トープンアクセス	国際共著
tープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名	- 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   . 著者名  横山拓・鈴木宏昭	- 4 . 巻 J101-D
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 横山拓・鈴木宏昭 2.論文標題	- 4.巻 J101-D 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 横山拓・鈴木宏昭	- 4 . 巻 J101-D
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 4.巻 J101-D 5.発行年 2018年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 4 . 巻 J101-D 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 4.巻 J101-D 5.発行年 2018年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 横山拓・鈴木宏昭  2 . 論文標題 変化する動的な環境におけるマネジメント  3 . 雑誌名 。電子情報通信学会誌	- 4 . 巻 J101-D 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 294 305
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 横山拓・鈴木宏昭  2 . 論文標題 変化する動的な環境におけるマネジメント  3 . 雑誌名 。電子情報通信学会誌  『載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 J101-D 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 294 305
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 横山拓・鈴木宏昭  2 . 論文標題 変化する動的な環境におけるマネジメント  3 . 雑誌名 。電子情報通信学会誌	- 4 . 巻 J101-D 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 294 305
1 . 著者名 横山拓・鈴木宏昭 2 . 論文標題 変化する動的な環境におけるマネジメント 3 . 雑誌名 . 電子情報通信学会誌	- 4 . 巻 J101-D 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 294 305

1.著者名       4.巻         藤本匡介・鈴木宏昭・小田切史士       42         2.論文標題       5.発行         オリジナル映像ドラマを媒介とした日本語学習者に対するトゥールミン・モデル指導       2018年	
2 . 論文標題 5 . 発行	
オリジナル映像ドラマを媒介とした日本語学習者に対するトゥールミン・モデル指導 2018年	
l	E
3.雑誌名 6.最初	]と最後の頁
教育工学雑誌 73 76	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	無
10.15077/jjet.S42040	有
オープンアクセス 国際共著	Z
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名 4 . 巻	
Honda Hidehito, Fujisaki Itsuki, Matsuka Toshihiko, Ueda Kazuhiro 65	
Tional Trackit Co. Tay Factor Trackit materials Tools Trackit Materials Tools Trackit Trackit Tools Tools Trackit Trackit Tools Trackit Trackit Tools Trackit Trackit Tools Trackit Tr	
2 . 論文標題 5 . 発行	·
·····	
Typicality or Fluency? 2018年	+
그 사람수	1 レ旦悠の百
	]と最後の頁
Experimental Psychology 210~1	217
	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有	
10.1027/1618-3169/a000405	有
オープンアクセス 国際共著	Ĩ
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名 4. 巻	
Kuangzhe Xu ; Yoshiko Kawabata ; Toshihiko Matsuka 14	
2 . 論文標題 5 . 発行	年
Direct effects of personality traits of observers on impression ratings of faces 2018年	
2010	
3.雑誌名 6.最初	]と最後の頁
Proceedings of the 14th IEEE International Conference on Signal Processing 950 9	
Froceedings of the 14th feet international conference on Signal Frocessing	30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)   査読の有	; <del>                                     </del>
	_
10.1109/ICSP.2018.8652378	有
+ -1\17447	<del>-</del>
オープンアクセス 国際共著	ī
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名 4.巻	
Masatoshi Nagano, Tomoaki Nakamura, Takayuki Nagai, Daichi Mochihashi, Ichiro Kobayashi, 2018	
Masahide Kaneko	
	· ·
2 . 論文標題 5 . 発行	
2 . 論文標題 5 . 発行	
2 . 論文標題 5 . 発行	1と是後の百
2.論文標題 Sequence Pattern Extraction by Segmenting Time Series Data Using GP-HSMM with Hierarchical 2018年 Dirichlet Process	し取扱い只
2.論文標題 Sequence Pattern Extraction by Segmenting Time Series Data Using GP-HSMM with Hierarchical 2018年Dirichlet Process 3.雑誌名 6.最初	
2.論文標題 Sequence Pattern Extraction by Segmenting Time Series Data Using GP-HSMM with Hierarchical 2018年 Dirichlet Process	
2.論文標題 Sequence Pattern Extraction by Segmenting Time Series Data Using GP-HSMM with Hierarchical 2018年Dirichlet Process 3.雑誌名 6.最初	
2.論文標題 Sequence Pattern Extraction by Segmenting Time Series Data Using GP-HSMM with Hierarchical 2018年Dirichlet Process  3.雑誌名 Proceedings of the International Conference on Intelligent Robots and Systems  6.最初	4074
2.論文標題 Sequence Pattern Extraction by Segmenting Time Series Data Using GP-HSMM with Hierarchical 2018年 Dirichlet Process  3.雑誌名 Proceedings of the International Conference on Intelligent Robots and Systems 4067 相動論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	4074 f無
2.論文標題 Sequence Pattern Extraction by Segmenting Time Series Data Using GP-HSMM with Hierarchical 2018年 Dirichlet Process  3.雑誌名 Proceedings of the International Conference on Intelligent Robots and Systems  6.最初 4067	4074
2.論文標題 Sequence Pattern Extraction by Segmenting Time Series Data Using GP-HSMM with Hierarchical Dirichlet Process5.発行 2018年 2018年 2018年 2018年 3.雑誌名 Proceedings of the International Conference on Intelligent Robots and Systems6.最初 4067年掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有 3	4074 f無 有
2.論文標題 Sequence Pattern Extraction by Segmenting Time Series Data Using GP-HSMM with Hierarchical 2018年 Dirichlet Process  3.雑誌名 Proceedings of the International Conference on Intelligent Robots and Systems 4067 相動論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	4074 f無 有

	T
1.著者名	4 . 巻
Satoru Oshikawa, Tomoaki Nakamura, Takayuki Nagai, Kotaro Funakoshi, Naoto Iwahashi, Mikio	2018
Nakano, and Masahide Kaneko	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Interaction Modeling Based on Segmenting Two Persons Motions Using Coupled GP-HSMM	2018年
The race of the second of the	2010
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the IEEE International Conference on Robot and Human Interactive Communication	288 293
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
60	F
オープンアクセス	国際共著
	国际六 <b>有</b>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
鈴木宏昭	39
#Y/N/APL	
2 - 50-2+ 4折 日百	F 交流左
2 . 論文標題	5.発行年
教育ごっこを超える可能性はあるのか?:身体化されたちの可能性を求めて.	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
大学教育学会誌	12 - 16
ハナが日ナム師	12 - 10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープンデンで入りはなり、又はオープンデンで入か凶無	
	T
1.著者名	4 . 巻
諏訪正樹・鈴木宏昭・堀浩一	32(3)
2.論文標題	5.発行年
·····	2017年
一人称研究対談:「一人称研究とはなんぞや」 上篇	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
人工知能学会誌	437 - 447
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	1
1 英老々	<b>1</b>
1. 著者名	4.巻
諏訪正樹・鈴木宏昭・堀浩一	32(4)
2.論文標題	5 . 発行年
一人称研究対談:「一人称研究とはなんぞや」 下篇	2017年
A CHAMISTONIAN AND CHOICE OF THE TAME	
2 Mett 선	6 早初と早後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
人工知能学会誌	599 - 608
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	•
	   査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
	   査読の有無   有
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	有
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	有

!	1 4 24
1 . 著者名	4 . 巻
鈴木宏昭	58(4)
2 . 論文標題	5.発行年
「人の気づきに迫る:認知科学,心理学からのアプローチ」編集にあたって	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
情報処理	280 - 281
	200 201
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無 無
	777
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カープラックと人ではない、人はカープラックと人が四年	-
1 ***	1 4 <del>**</del>
1 . 著者名	4 . 巻
横山拓・鈴木宏昭	J101-D
a +A + 1# DT	- 70/
2 . 論文標題	5 . 発行年
変化する動的な環境におけるマネジメント	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
電子情報通信学会誌	294 - 305
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
40	P
オープンアクセス	国際共著
· · · · · -· ·	当际六名
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. #*	
1 . 著者名	4.巻
粟津俊二・安山秀盛・鈴木明夫	13
2.論文標題	5.発行年
身体的行為の経験に着目した英語語彙修得方法の開発と評価-前置詞の学習	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
実践女子大学人間社会学部紀要	15 - 27
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	☆読の有無
	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
なし	無
なし オープンアクセス	
なし	無
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	無 国際共著 - 4. 巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tomoaki Nakamura and Takayuki Nagai	無 国際共著 - 4.巻 印刷中
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tomoaki Nakamura and Takayuki Nagai  2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 印刷中 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tomoaki Nakamura and Takayuki Nagai	無 国際共著 - 4.巻 印刷中
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tomoaki Nakamura and Takayuki Nagai  2 . 論文標題 Ensemble-of-Concept Models for Unsupervised Formation of Multiple Categories	無 国際共著 - 4.巻 印刷中 5.発行年 2018年
オープンアクセス	無 国際共著 - 4.巻 印刷中 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tomoaki Nakamura and Takayuki Nagai  2 . 論文標題 Ensemble-of-Concept Models for Unsupervised Formation of Multiple Categories  3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 印刷中 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tomoaki Nakamura and Takayuki Nagai  2 . 論文標題 Ensemble-of-Concept Models for Unsupervised Formation of Multiple Categories	無 国際共著 - 4.巻 印刷中 5.発行年 2018年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tomoaki Nakamura and Takayuki Nagai  2 . 論文標題 Ensemble-of-Concept Models for Unsupervised Formation of Multiple Categories  3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 印刷中 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tomoaki Nakamura and Takayuki Nagai  2 . 論文標題 Ensemble-of-Concept Models for Unsupervised Formation of Multiple Categories  3 . 雑誌名 IEEE Transactions on Cognitive and Developmental Systems	無 国際共著 - 4 . 巻 印刷中 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 印刷中
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tomoaki Nakamura and Takayuki Nagai  2 . 論文標題 Ensemble-of-Concept Models for Unsupervised Formation of Multiple Categories  3 . 雑誌名 IEEE Transactions on Cognitive and Developmental Systems	無 国際共著 - 4 . 巻 印刷中 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 印刷中
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tomoaki Nakamura and Takayuki Nagai  2 . 論文標題 Ensemble-of-Concept Models for Unsupervised Formation of Multiple Categories  3 . 雑誌名 IEEE Transactions on Cognitive and Developmental Systems	無 国際共著 - 4 . 巻 印刷中 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 印刷中
オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Tomoaki Nakamura and Takayuki Nagai  2 . 論文標題     Ensemble-of-Concept Models for Unsupervised Formation of Multiple Categories  3 . 雑誌名     IEEE Transactions on Cognitive and Developmental Systems  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	無 国際共著 - 4 . 巻 印刷中 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 印刷中
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tomoaki Nakamura and Takayuki Nagai  2 . 論文標題 Ensemble-of-Concept Models for Unsupervised Formation of Multiple Categories  3 . 雑誌名 IEEE Transactions on Cognitive and Developmental Systems	無 国際共著 - 4 . 巻 印刷中 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 印刷中

1.著者名 Honda, H., Fujisaki, I., Matsuka, T., & Ueda, K	4 . 巻 印刷中
2.論文標題 Typicality or fluency? A Comparison of two hypotheses about cognitive effects of Japanese script	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Experimental Psychology.	6.最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Honda, H., Shirasuna, M., Matsuka, T., & Ueda, K	4 . 巻 印刷中
2.論文標題 Speakers' choice of frame based on reference point: With explicit reason or affected by irrelevant prime?	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Proceedings of the 40th Annual Conference of the Cognitive Science Society	6.最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Xu,Kuangzhe,川端良子、松香敏彦	4.巻 17
2.論文標題 モデル比較を用いた顔の印象評定における視線行動と性格特性の効果の検討	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 日本顔学会誌	6.最初と最後の頁 25 - 33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Yoshiko Kawabata, Matsuka Toshihiko and Yasuharu Den	4 . 巻 -
2.論文標題 On the Usages of Conditional Clauses in Japanese Maptask Dialogue	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Proceedings of Conference of The Oriental Chapter of International Committee for Coordination and Standardization of Speech Databases and Assessment Technique	6 . 最初と最後の頁 92 - 97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

	. w
1.著者名	4 . 巻
徐キョウテツ,松香敏彦	16
2.論文標題	5.発行年
視線追跡を用いた顔への注意と対人印象の関係の検討	2016年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本顔学会誌	45-53
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	有
74 U	Ħ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	印刷中
川端良子・松香敏彦・土屋俊	ւրտրդ 🕂
2 . 論文標題	5.発行年
地図課題対話における共有信念更新のメカニズム	2017年
2 1014	C 840 L 8/4 6 T
3. 維誌名	6.最初と最後の頁
認知科学	印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
 オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
粟津俊二・安山秀盛・鈴木明夫	13
2.論文標題	5.発行年
身体的行為の経験に着目した英語語彙修得方法の開発と評価ー前置詞の学習	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
実践女子大学人間社会学部紀要	15-27
ᄉᄥ서ᇧᆟᄭᄓᄔᄶᄀᄞᄤᆇ	10 27
担 計会 か の D O L / デンジカリ ナインジュ カー は D D フ ン	本法の左便
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
1.者有石 一 鈴木宏昭・横山拓	4 · 含 49
或小么hu · 快山加	<del>1</del> 9
2 . 論文標題	5.発行年
コトバを超えた知を生み出す:身体性認知科学から見たコミュニケーションと熟達	2016年
コートでたっこうはでエグロッ・2 ではWOMコナルンカにコーユーノ ノコノしが注	2010-
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
組織科学	2-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
<b>な</b> し	有
+ +\.¬++¬	□ 0/m ++ ++
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名 中村友昭,長井隆行	<b>4</b> . 巻 24
2.論文標題 確率モデルに基づくロボットによる概念・言語獲得	5.発行年 2016年
3.雑誌名 認知科学	6.最初と最後の頁 23-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Honda, H., Matsuka, T., & Ueda, K	4 . 巻 印刷中
2.論文標題 Decisions based on verbal probabilities: Decision bias or decision by sampling?	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Proceedings of the 39th Annual Conference of the Cognitive Science Society	6.最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1. 著者名 Shirasuna, M., Honda, H., Matsuka, T., & Ueda, K	4.巻 印刷中
2.論文標題 Familiarity-matching in decision making: Experimental studies on cognitive processes and analyses of its ecological rationality	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Proceedings of the 39th Annual Conference of the Cognitive Science Society	6.最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
1.著者名 白砂大,松香敏彦,本田秀仁,植田一博	4 . 巻 印刷中
2.論文標題 なじみ深さのマッチング:認知プロセスと生態学的合理性の実験的検討	5.発行年 2017年
3.雑誌名 認知科学	6.最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	査読の有無有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

〔学会発表〕 計64件(うち招待講演 4件/うち国際学会 11件)
1 . 発表者名 本田秀仁・藤崎樹・松香敏彦・植田一博
2.発表標題
集団意思決定でヒューリスティックのバイアスは解消されるのか?記憶の多様性を視点とする理論的分析
3.学会等名 日本認知科学会第36回大会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 白砂大・本田秀仁・松香敏彦・植田一博
2.発表標題 日常場面を想定したfamiliarity-matching利用の検討
3 . 学会等名 日本認知科学会第36回大会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 本田秀仁・藤崎樹・松香敏彦・植田一博
2 . 発表標題 多様な記憶が導く正確な集団意思決定:行動実験と計算機シミュレーションに基づく検証
3.学会等名 日本認知心理学会第17回大会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名
Kawabata, Y., Matsuka, T.
2 . 発表標題 On the Relationships Between Spoken Instructions and Task Executions in Japanese Language
3 . 学会等名 60th Annual Meeting of Psychonomics society(国際学会)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名
Matsuka, T., Kawabata, Y. Xu, K.
2.発表標題
Effects of Incomplete Memorization in a Model of Category Learning.
Elicoto di modiliproto monorization in a moder di dategory Edanning.
3 . 学会等名
60th Annual Meeting of Psychonomics society(国際学会)
4.発表年
2019年
1. 発表者名
Matsuka, T., Xu, K., Kawabata, Y.
2
2. 発表標題
Effects of incomplete memorization in an exemplar model of category learning
3. 学会等名
49th annual meeting of society for computer in psychology
ict. amaa. mooting of ecoloty for computer in poychology
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
鈴木宏昭
2. 発表標題
表象,DNN,そしてプロジェクション
2.
3.学会等名 日本初知科学会第36回士会(初待護家)
日本認知科学会第36回大会(招待講演)
4.発表年
4 · 光表中 2019年
2010T
1.発表者名
は、元代自己 横山裕樹・岡田浩之・鈴木宏昭
2. 発表標題
プロジェクションのメカニズムを探る:重ね描きとプレディクション
a. W.A. data da
3. 学会等名
第33回人工知能学会全国大会
4 7V ± /T
4. 発表年
2019年

1 . 発表者名 長野匡隼,中村友昭,長井隆行,持橋大地,小林一郎,高野涉
2 . 発表標題 HVGH: 高次元時系列データの深層圧縮と教師なし分節化
3.学会等名 第33回人工知能学会全国大会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 國安瞭,中村友昭,長井隆行,谷口忠大
2 . 発表標題 確率モデルの統合によるマルチモーダル学習モデルの構築
3 . 学会等名 第33回人工知能学会全国大会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 布川遼太郎,中村友昭,長井隆行
2.発表標題 HSMMを用いた物体と動作の時間的分節化によるロボットの統合概念学習
3 . 学会等名 日本ロボット学会学術講演会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 國安瞭,中村友昭,長井隆行,谷口忠大
2 . 発表標題 確率モデルとニューラルネットワークの相互作用による教師なしマルチモーダル学習
3.学会等名 日本ロボット学会学術講演会
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 工藤仁紀,中村友昭
2 . 発表標題 複数の物体が存在する環境下でのロボットによる語意学習
2 24 4 27
3.学会等名 日本ロボット学会学術講演会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 長野匡隼,中村友昭,長井隆行,持橋大地,小林一郎,高野涉
2.発表標題
Slice Samplingに基づく教師なし分節化における推論の高速化
3.学会等名
情報論的学習理論ワークショップ
4.発表年
2019年
1 . 発表者名 Ryo Kuniyasu, Tomoaki Nakamura, Takayuki Nagai, Tadahiro Taniguchi
2 . 発表標題 Construction of a Multimodal Learning Model Based on Integrating Stochastic Models
3.学会等名
IROS2019: Workshop on Deep Probabilistic Generative Models for Cognitive Architecture in Robotics(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 中村友昭
2 . 発表標題 階層ベイズモデルに基づくロボットによる教師なし概念学習
3 . 学会等名 第122回ロボット工学セミナー(招待講演)
4.発表年 2019年

1 . 発表者名 Tomoaki Nakamura
2 . 発表標題
A Framework for Construction of Multimodal Learning Models
3 . 学会等名 IROS2019: Workshop on Deep Probabilistic Generative Models for Cognitive Architecture in Robotics(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 粟津俊二,松香敏彦,小田切史士,鈴木宏昭,岡田浩之,松田哲也
2 . 発表標題 多感覚的で文脈依存的な概念表象に関する fMRI 研究
3 . 学会等名 日本認知科学会第36回大会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 北野雅貴、 寺井あすか
2 . 発表標題 特徴の顕現性に着目した隠喩表現生成システム
3 . 学会等名 情報処理北海道シンポジウム
4.発表年 2019年
1.発表者名 松香敏彦、川端良子、Xu Kuangzhe
2 . 発表標題 認知モデルにおける不完全記憶の影響
3.学会等名 ヒューマン情報処理研究会
4.発表年 2020年

1 . 発表者名 須堯 大喜, 寺井あすか
2 . 発表標題 係り受け解析を用いた比喩生成支援システム
3 . 学会等名 第119回人文科学とコンピュータ研究会
4.発表年 2018年
1.発表者名 須堯 大喜,寺井あすか
2 . 発表標題
係り受け解析を用いた比喩生成支援システムの提案
3 . 学会等名 情報処理北海道シンポジウム2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 粟津俊二
2 . 発表標題 高速行為文の理解による反応時間の遅延
3 . 学会等名 日本認知科学会
4.発表年 2018年
1.発表者名 大山将来.,辻田亜門.,粟津俊二., 赤間啓之
2 . 発表標題 言語意味処理に関する脳fMRIデータの単変量サーチライト解析
3 . 学会等名 日本認知科学会
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名  辻田亜門., 大山将来., 粟津俊二., & 赤間啓之
2 . 発表標題 f MRIを用いた日本語母語話者による英文の意味処理における脳の機能的結合性解析.
3.学会等名 日本認知科学会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 粟津俊二
2 . 発表標題 教えて!わかるを生み出す理解のしくみ
3 . 学会等名 NPO法人シブヤ大学講演
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 押川慧,中村友昭,長井隆行,岩橋直人,船越孝太郎,竹内誉羽,中野幹生,金子正秀
2 . 発表標題 Coupled GP-HSMMを用いた時系列マルチモーダル情報の分節化に基づくインタラクションのモデル
3.学会等名 言語処理学会年次大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 國安瞭,中村友昭,青木達哉,谷口彰,尾崎僚,伊志嶺朝良,横山裕樹,小椋忠志,長井隆行,谷口忠大
2.発表標題 確率モデルの統合による大規模なモデルの実現 ~VAE, GMM, HMM, MLDAの統合モデルの実装と評価~
3.学会等名 情報論的学習理論ワークショップ
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 長野匡隼,中村友昭,長井隆行,持橋大地,小林一郎,高野涉,金子正秀	
2.発表標題 VAEとガウス過程による高次元データの圧縮と同時分節化	
3 . 学会等名 情報論的学習理論ワークショップ	
4 . 発表年	
2018年	
1.発表者名	
布川遼太郎,宮澤和貴,中村友昭,長井隆行,金子 正秀	
2. 及丰福店	
2.発表標題 時系列マルチモーダル情報の分節・分類に基づく物体と動作の統合概念学習	
W 1 No 10	
3 . 学会等名 人工知能学会全国大会	
4 . 発表年	
2018年	
1.発表者名 押川慧,中村友昭,長井隆行,岩橋直人,船越孝太郎,中野幹生,金子正秀	
2.発表標題 Coupled GP-HSMMを用いた連続動作の分節化に基づくインタラクションのモデル化	
2	
3.学会等名 人工知能学会全国大会	
4.発表年	
2018年	
1. 発表者名 長野匡隼,中村友昭,長井隆行,持橋大地,小林一郎,金子 正秀	
2 . 発表標題 ノンパラメトリックベイズ法に基づく時系列データの分節化	
3 . 学会等名 人工知能学会全国大会	
4 . 発表年 2018年	

1 . 発表者名 Masatoshi Nagano, Tomoaki Nakamura, Takayuki Nagai, Daichi Mochihashi, Ichiro Kobayashi, Masahide Kanek
2.発表標題 equence Pattern Extraction by Segmenting Time Series Data Using GP-HSMM with Hierarchical Dirichlet Process
3.学会等名 International Conference on Intelligent Robots and Systems(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Satoru Oshikawa, Tomoaki Nakamura, Takayuki Nagai, Kotaro Funakoshi, Naoto Iwahashi, Mikio Nakano, and Masahide Kaneko
2.発表標題 Interaction Modeling Based on Segmenting Two Persons Motions Using Coupled GP-HSMM
3.学会等名 IEEE International Conference on Robot and Human Interactive Communication (国際学会)
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 Kuangzhe Xu ; Yoshiko Kawabata ; Toshihiko Matsuka
2.発表標題 Direct effects of personality traits of observers on impression ratings of faces
3.学会等名 Proceedings of the 14th IEEE International Conference on Signal Processing(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 横山拓・鈴木宏昭
2 . 発表標題 プロジェクションと熟達:マイケル・ポランニーの暗黙的認識の理論から
3.学会等名 日本認知科学会第34回大会

4 . 発表年 2017年

1.発表者名
<u>鈴木宏昭</u>
2 . 発表標題
プロジェクションとは何か
3.学会等名
日本認知科学会冬のシンポジウム(招待講演)
4.発表年
2017年
1.発表者名
粟津俊二・安山秀盛・鈴木明夫.
2.発表標題
日本人英語学習者による外国語理解の身体性
3.学会等名 日本認知心理学会第15回大会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 粟津俊二
米/F/以二
2. 発表標題
行為の様相が行為文理解時のボタン押し反応に与える影響
3 . 学会等名
日本認知科学会第34回大会
4.発表年
2017年
1.発表者名
Miyuki Funada, Tomoaki Nakamura, Takayuki Nagai and Masahide Kaneko
2.発表標題
Analysis of the Effect of Infant-Directed Speech on Mutual Learning of Concepts and Language Based on MLDA and Unsupervised
Word Segmentation
3 . 学会等名 IROS2017: Workshop on Machine Learning Methods for High-Level Cognitive Capabilities in Robotics(国際学会)
4 . 発表年 2017年

1.発表者名 中村友昭,宮澤和貴,青木達哉,長井隆行,金子正秀
2 . 発表標題 複数概念の時間的分節化に基づくロボットによる上位概念の学習
3 . 学会等名 人工知能学会全国大会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 船田美雪,中村友昭,長井隆行,金子正秀
2 . 発表標題 MLDAと教師なし単語分割に基づく概念と言語の相互学習
3 . 学会等名 人工知能学会全国大会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 船田美雪,中村友昭,長井隆行,金子正秀
2 . 発表標題 概念・言語獲得モデルに対する構成論的解析 -概念形成過程における育児語の影響-
3 . 学会等名 情報処理学会全国大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 布川遼太郎,宮澤和貴,中村友昭,長井隆行,金子正秀
2 . 発表標題 時系列マルチモーダル情報の分節・分類に基づくロボットによる概念の学習
3 . 学会等名 情報処理学会全国大会
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 Xu,Kuangzhe,川端良子、松香敏彦
2 . 発表標題 視線誘導と性格特性が顔への印象評定と観察行動におよぼす影響
3.学会等名 第22回日本顔学会大会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 白砂大・本田秀仁・松香敏彦・植田一博
2.発表標題なじみ深さ、知識 ~統計モデルによる推論プロセスの検証~
3.学会等名 日本認知科学第34回大会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 本田秀仁・白砂大・松香敏彦・植田一博
2.発表標題 フレーム選択における意図と潜在的処理.
3 . 学会等名 日本認知心理学会第15回大会
4.発表年 2017年
1 . 発表者名 Honda, H., Matsuka, T., & Ueda, K
2 . 発表標題 Rethinking decision processes from a communicative perspective
3 . 学会等名 38th Annual Meeting of the Society for Judgment and Decision Making(国際学会)
4 . 発表年 2017年

1.発表者名
1.光衣有名   Xu,Kuangzhe,川端良子、松香敏彦
2.発表標題
性格特性が観察行動と顔の印象形成に与える影響
日本認知心理学会第15回大会
4. 完衣牛 2017年
20117
1.発表者名
大貫祐大郎・本田秀仁・松香敏彦・植田一博
2.発表標題
異なる評価法によるリスク態度の変化:意思決定者の信念推定に基づく認知プロセスの分析
3.学会等名
日本認知科学第34回大会
2017年
1. 発表者名
徐キョウテツ,松香敏彦
2 . 発表標題 観察者の性格特性が顔への視線及び印象評定に与える影響
既示古のは伯特はが終いの抗縁及の中冬年とに与える影響
- 3 ・ 子云寺台 日本視学学会
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
・・光衣自石 徐キョウテツ,松香敏彦
2.発表標題
顔の印象評定における観察者の性格特性の影響について
3.学会等名
日本顔学会大会フォーラム顔学
4 . 発表年 2016年
2010 <del>-</del>

1 . 発表者名 徐キョウテツ,松香敏彦
2 . 発表標題 モデル比較を用いた顔の印象評定における視線行動と性格特性の効果の検討
3.学会等名日本感性工学会春季大会
4 . 発表年
2017年
2017
1.発表者名 Honda, H., Matsuka, T., & Ueda, K
2
2 . 発表標題 On the adaptive nature of memory-based false belief
2
3 . 学会等名 38th Annual Conference of the Cognitive Science Society, (国際学会)
4 . 発表年
2016年
1.発表者名
白砂大・松香敏彦
2 . 発表標題
問題文と選択肢の双方の知識量に基づく推論
3.学会等名
日本認知科学第33回大会
4.発表年
2016年
1. 発表者名
本田秀仁・松香敏彦・植田一博
2
2.発表標題
記憶に基づく誤った信念の系統性:推論における正確性の個人差を説明できるのか?
3 . 学会等名
日本認知科学第33回大会
4 . 発表年
2016年

1.発表者名 川端良子・松香敏彦・伝康晴
2.発表標題 地図課題対話において発話の理解はどのように示されるか?
3.学会等名 日本認知科学第33回大会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 東津俊二
2 . 発表標題 行為文理解時の運動シミュレーションに動詞の時相が与える影響
3 . 学会等名 日本認知科学第33回大会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 鈴木宏昭
2 . 発表標題 プロジェクション科学の展望
3 . 学会等名 日本認知科学第33回大会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 Awazu, S., Suzuki, A., & Akama, H.
2. 発表標題 Mental simulation during comprehension of English and Japanese action sentences in English learners
3 . 学会等名 31st International Congress of Psychology(国際学会)
4.発表年 2016年

1.発表者名 船田美雪,中村友昭,長井隆行,金子正秀
2 . 発表標題 マルチモーダル概念形成における概念と言語の相互作用の解析
3 . 学会等名
3 . 字云寺名 人工知能学会全国大会 4 . 発表年
2016年
1.発表者名 船田美雪,中村友昭,長井隆行,金子正秀
2 . 発表標題 MLDAと教示なし単語分割に基づく概念と言語モデルの学習過程の解析
3 . 学会等名 計測自動制御学会・システム・情報部門学術講演会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 船田美雪,中村友昭,長井隆行,金子正秀
2 . 発表標題 概念と言語の相互学習における育児語の影響の解析
3 . 学会等名 情報処理学会全国大会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 鈴木宏昭
2 . 発表標題 教育ごっこを超える可能性はあるのか?:身体化されたちの可能性を求めて
3 . 学会等名 大学教育学会2016年度課題研究集会開催校企画シンポジウム
4.発表年 2016年

〔図書〕 計3件	1 . TV (= be
1 . 著者名 鈴木 宏昭	4 . 発行年 2020年
2 HIE-71	Γ <i>W</i> Λ Δ° Σ° <del>¥</del> h
2.出版社 筑摩書房	5 . 総ページ数 <sup>304</sup>
3 . 書名 類似と思考 改訂版	
類似る心ち(文訂版)	
1 . 著者名	4.発行年
鈴木宏昭(楠見孝編)	2019年
2.出版社 遠見書房	5.総ページ数 208
退兄音 <b>方</b>	200
3 . 書名	
学習・言語心理学、「問題解決と学習の転移」章	
1.著者名	4.発行年
鈴木宏昭 (人工知能学会編集)	2017年
2.出版社	5.総ページ数
共立出版	1579

# 〔産業財産権〕

共立出版

人工知能学事典(「認知科学」)

3 . 書名

〔その他〕

6 . 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	粟津 俊二	実践女子大学・人間社会学部・教授	
研究分担者	(Awazu Shuji)		
	(00342684)	(32618)	

6.研究組織(つづき)

. 0	・研究組織(フノさ)		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	鈴木 宏昭	青山学院大学・教育人間科学部・教授	
研究分担者	(Suzuki Akihiro)		
	(50192620)	(32601)	
	中村 友昭	電気通信大学・大学院情報理工学研究科・准教授	
研究分担者	(Nakamura Tomoaki)		
	(50723623)	(12612)	
研究分担者	寺井 あすか (Terai Asuka)	公立はこだて未来大学・システム情報科学部・教授	
	(70422540)	(20103)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------